

## 決算特別委員会記録

開 会 年 月 日	平成 2 4 年 9 月 2 8 日
開 議 時 刻	午前 1 0 時 0 0 分
散 会 時 刻	午前 1 0 時 4 2 分
出 席 委 員 名	◎中村豊治 ○上田修一 野崎隆太 世古 明 野口佳子
	福井輝夫 辻 孝記 品川幸久 長田 朗 小山 敏
	工村一三 宿 典泰 世古口新吾
	西山 則夫議長
欠 席 委 員 名	
署 名 者	世古 明 辻 孝記
担 当 書 記	中野 諭
審 議 議 案	「議案第 72 号 平成 23 年度決算認定について」外 4 件一括
説 明 員	市長、副市長、総務部長、ほか関係参与

## 審査の経過ならびに概要

午前 10 時、中村委員長開議を宣告し、直ちに会議に入り、前回に引き続き「議案第 72 号平成 23 年度決算認定について」ほか 4 件一括を議題とし、議案第 72 号ほか 4 件一括の討論から行い、73 号については賛成多数をもって、他の 4 議案については、いずれも全会一致をもって、それぞれ認定すべしと決定し、諮ったところ、本日はこの程度で散会し、10 月 3 日午後 1 時から継続会議を開くことと決定、本日の出席者には開議通知をしないこととし、午前 10 時 42 分に散会した。

## 審査の概要

### ◎中村委員長

ただ今から、決算特別委員会の継続会議を開きます。

出席者は全員でございますので会議は成立しております。

会議録署名者につきましては、当初決定のとおり、世古委員、辻委員の御兩名をお願いいたします。

### ◎中村委員長

それでは、議案第 72 号平成 23 年度決算認定についてほか 4 件を前回に引き続きまして議題といたします。

本日は討論および採決を行います。

討論につきましては、5 件一括の討論で、反対討論、賛成討論の順番で行いたいと思います。討論終了後には、すぐに採決に入らせていただきます。

採決につきましては、議案第 72 号から順次起立採決をお願いをいたします。よろしく願いをいたします。

それでは議案第 72 号平成 23 年度決算認定についてほか 4 件に対する討論を行います。

討論はありませんか。

反対討論からあれば行いたいと思います。

宿委員。

### ○宿委員

おはようございます。

病院事業会計の平成 23 年度の決算に対しての反対の討論を申し上げたいと思います。

今回病院事業の 23 年度の決算をつぶさに見せていただいて、また大変な赤字だということと、また繰入金も多額にのぼっておるといような状況も踏まえて、検証もさせていただき、また、

病院管理者からも、これからの病院の経営のあり方についてのいろんな課題についてもお話をいただきました。

実際に今回、23年度の決算も7年連続の赤字であったということ、また、繰越欠損金に至っては、36億6,281万2,960円となったということで、これも監査委員の意見書で厳しく意見が出されております。

私は特に、病院に対しては、今の病院の改革プランというのが示されて、実際には21年、22年度に改革プランに基づいた大きな改革のチャンスがあったのではないかなど。これは改革のプランニングをしていただいている第三者委員会のほうからも大変厳しい指摘があり、それについてもきちっと検証をされたのかということ、21年度、22年度の決算においてもされなかった。また、それを受けて、23年度もどうであったかということ、なかなかそれも第三者委員会からの指摘も、結果からすると無視をされてしまっておるのではないかなどこんなことを感じております。

質疑の中でも19年度からの繰入金も含めて、多額の繰入金があるということも示させていただきました。毎年4億5千万円の繰入金を多年に渡ってされております。特に22年度はその4億5千万円の繰入金を7億円にまで伸ばして繰入金としたにも関わらず、1億6,300万からの赤字になってしまった。

今回の23年度決算においては、4億5千万に追加をして、結果的には15億8千万からの繰入金をしたにも関わらず、やはり先ほど申したように単年度で3億4,523万の赤字ということになりました。これは大変憂慮すべきことでありますし、本当に今の伊勢病院の危機ではないかなど、こんなことを感じるばかりであります。

また、今までの行財政改革の視点で、どういった経費の削減をしてきたのかということで御質問も申し上げました。23年度に至っては、1億数千万、1億1千万未満の削減はしてきたということでもありますけれども、1億数千万の削減をしても、やはり3億4,523万の赤字になったということでもあります。

ちなみに伊勢日赤さんにお会いする機会があつて経営等々の内容を確認したことがあります。そのときには、伊勢病院さんはよろしいなということを言われました。伊勢市からは後方支援として繰入金をいただきながらやっておる。我々はそういうことではありませんよ。繰入金はありませんけれども、地域の医療をどれだけ確保するかということで、本当に必死になっています。そしてまた経営的には黒字であるということです。

今、新病院になってどれほどの黒字、赤字ということは、私はつぶさにはわかりませんが、旧の日赤さんの状況であってもそうであったということでもあります。

そしてまた今後の話として、新たに経費削減の話をしていただきましたけれども、なかなか赤字を、やはりこう、逆転して黒字に持っていくというような手法がないということになれば、やはり今、民間企業では、大変聖域だと言われておる人件費に触れなければならないような状況にまで至っておるということでもあります。大変残念な話でありますけれども、医師の確保、看護師の確保ということが命題でありますけれども、大きな命題であります。しかしながら一方では、

医師不足、看護師不足といいながら、やはり経営の改善がなされていないという状況は、大変残念な思いであります。

21年、22年ということのチャンス、また23年についてもそういった状況からみると、伊勢病院は公営企業の全適を受けております。つまり、伊勢病院は、伊勢病院として、企業として会計を独自にいろいろと運営する責任もあれば、できるような状況であります。つまり給与体系にしても今の状況からみて変えられるような状況もあったと、そういうチャンスでもあったわけがあります。それをやはり21年、22年と大きなチャンスがありながら、23年もこうした状況になったということは非常に残念な結果ではないかなとこんなことを思っております。24年度も5億5千万からの繰り入れはさせていただいております。その中で、やはりこの一般会計のほうで繰入金ということで処理はしておるものの、伊勢病院が困ったら、いつでも手を出せば、一般会計から繰り入れをしていくという状況がいかなものなのかということ非常に感じます。「

それと今一方では新病院の話をしております。新病院では、伊勢病院の建設の計画策定委員会ということを持たれて、もう十数回もたれておるのではないかなと。この中で、やはりあと4年、5年かかる新病院について、新しい診療科目、また診療内容について、今策定委員会のほうで細かくはさせていただいております。ただ残念なことにまだ立地ということの場所が確定をされておりません。これも最近になって候補地が現れ、8エリアの中の候補地を絞るという作業はされております。全体の費用としてどれくらいの建設費がかかるかということが、まだ明示もされない。その医療を充実させる、伊勢病院を、新病院をつくるということに対しての全体的な計画の、その数値さえもまだ示されておりません。それに対して、市民がどれくらいの負担をしていくのかということもまだ示されてはいない。

まあ、新病院ということになれば、我々も新しい、将来の病院の経営とまた新病院の形を想像しますと、やはりこれは将来にとっては、重要な、大事な施設であろうということは認識をするものの、一方で今の現病院のこうした赤字体質というものから抜けられないという状況があるとすれば、非常に危険な状況で、5年間、あとこの旧の伊勢病院の状況が続くとなれば、本当に伊勢病院を、新伊勢病院を建てる費用ぐらいいは出てくるのではないかなと。これほど緊張をもったことを、今回は23年度で感じました。

そういった状況からみて、伊勢病院としてやはり独自に厳しい状況の、やはり認識をしていただいて、職員一丸でやられてきたにも関わらず、こういう状況であるというのは、やっぱり結果責任でありますから、そのことは重く受け止めていただいて、これからの新病院の改革には取り組んでいただきたいとは思っているものの、やはり23年度の、現状の伊勢病院の運営、またこの決算状況ということを見せていただくと、なかなか賛成するというわけにはいきません。

また23年度の予算の時点でも私は反対をしました。というのは、予算の時点から、もう赤字ですよということを言いながら予算を組むというのは、私は民間人としては、なかなか同意できなかったということでもあります。

結果として、それ以上の赤字になってしまったということも非常に残念でありますけれども、その中で、その改革を実施したという状況がなかなか見えにくい。やはり聖域である人件費につ

いても一考を願って、これから新病院に向けて本当に組織一体となって、どうやるべきなのかということをごきちと確認をしていただいて、これからの運営にあたっていただきたいと。

私は南勢地域のこのエリアから見て、非常に伊勢病院が大事な施設であろうという認識は職員の皆さんとまた市長、副市長とも、病院管理者とも同じような認識です。であるからして、やはり今の現病院の経営について非常に厳しい判断をせざる得ないということをご申し上げて反対の討論といたします。

◎中村委員長

72、74、75、76 はどういう状況ですか。

宿委員。

○宿委員

その他、一般会計等々、いろいろと課題がありました。一般会計についても、黒字だということでもありますけれども、19億等々の収益差があったということをごみて、またその中から10億の基金を積み立てるというようなことでもありました。

私は現状の伊勢市の状況を見てみると、もう少しやはり一般の企業、中小、小規模の事業者に対する支援等々もできたのではないかなと。アウトソーシングをもっともってやって、行財政改革を今以上にやっていただくことを願いたいと思います。

病院の会計、その他については賛成をさせていただくということでもあります。

◎中村委員長

他にございますか・・・福井委員。

○福井委員

議案第72号平成23年度決算認定ほか4件一括については、会派創造として、認定の立場で討論に参加します。

まず、歳入、市税について申し上げたい。

当局の努力を認めるものの、税の公平性、平等性を鑑み、より一層の徴収率の向上を期待したい。今回の経営結果は経常収支比率で85.7%となり、前年度比較では、1.0%を上回った額、昨年引き続き財政構造の弾力性の改善への努力が伺える決算指標になったことは評価したい。とりわけ財政調整基金も前年度比プラス27億円の86億円となり有効な活用を期待する一方、今後進められる小中学校の統廃合、新病院の建設、消防庁舎の新設等々、大規模な財政出動が計画されています。

また平成23年度の決算内容を分析しても、社会資本の整備にかかる投資的経費の占める割合は、昨年度比で5ポイント減少し、社会保障関係費が年々増加しており、財政運営については安心できる状況ではないと判断できる。

一方、健全財政のバランスをとりながら、行政のスリム化にさらに努め、優しさのあふれるまち、地域の自立と反映、地方分権時代にふさわしい活気あふれるオンリーワンのまちづくりを目指し、教育環境の充実、地場産業の活性化、地域の一体感の醸成や格差是正に取り組むことを強く望みます。

議案第 73 号平成 23 年度伊勢市病院事業会計決算認定について申し上げます。

病院の経営実態は決算審査で議論されたごとく、危機的な状況を通り越していることは事実であり、職員給与比率も 69.0%と民間では考えられない異常な状態となっております。この厳しい難局を乗り越えるには、藤本病院事業管理者を中心に全職員、スタッフ一同、心を一つに力を合わせ、まず意識改革を行い、就業環境の改善と働き甲斐があり、報われる職場づくりへ全力投球を願いたい。

また病院経営についても、地方公営企業法全部適用の利点を最大限生かし、病院独自の意思決定により、魅力ある、特色ある病院経営に邁進願いたい。

市長も市議会議員も市民の代表であります。常に情報の共有を図り、透明で風通しのよい中で議論を進め、市民の期待に十分応えられることを付言して賛成討論とします。

◎中村委員長

他にございますか。

工村委員。

○工村委員

議案第 72 号平成 23 年度一般会計決算ほか、特別会計、企業会計について明勢会を代表し、賛成の立場で参加させていただきます。

平成 23 年度一般会計決算におきましては、収入総額、459 億 9,531 万 8,833 円、歳出総額 439 億 1,944 万 6,962 円となり、翌年度へ繰り越し分を引き、財源を差し引いた実質収支額 19 億 2,642 万 8,328 円、単年度収支も 4 億 2,648 万 9,991 円の黒字となっております。

歳入におきましては自主財源が 44.2%と前年度比 4.4 ポイント高くなっており、これは本年度から旧町村に課税導入された都市計画税が調定額で 4 億 2,500 万、たばこ税率改定に伴い約 1 億円増額、サン・サポート・スクエアの工場用地売却が大きく寄与しております。

また歳出につきましては、病院事業会計繰出金、観光交通特別対策繰出金など増額となっておりますが、平成 22 年度における起債、繰上げ償還による起債償還元金の減額など歳出抑制効果も見られた内容であります。

しかし、本決算委員会においての質疑、委員間討議で慎重審議された中身におかれましても、税・料に対して、収入未済額、不能欠損額は多少減少しているものの高額であり、税・料、負担の公平性の観点からも債権回収対策室を中心に全庁的に滞納整理の充実に向けた取り組みを図るべきであると考えます。

本決算における経常収支比率も 85.7%と多少ですが改善されております。しかし我が国の国

内景気は緩やかに回復基調ではありますが、外交不安、国債の発行額 1 兆円など先行きの不透明感も感じられます。

また伊勢市においても、伊勢病院の建て替え、南海トラフによる大災害に向けての防災対策、人口減少と高齢化、保護世帯の増加などによる社会保障関係費の増加などの課題が山積みであり、厳しい財政運営ではありますが、今後地場産業、中小企業対策など産業の活性化、観光資源の抽出と伊勢病院の改革などに積極的に取り組まれ、限られた財源で効率的な事業の実施を望みます。平成 25 年度の遷宮を迎える伊勢市が明るく活気のある、おもてなしのまちとして発展することを願い討論とさせていただきます。

◎中村委員長

他にありましたら。

野口委員。

○野口委員

私は賛成の立場で討論します。

議案第 72 号平成 23 年度決算審査で伊勢市一般会計歳入につきましては 23 年 7 月 1 日、債権回収対策室を設置され、債権回収に大変な努力をされ理解できます。

しかしまだ多くの収入未済額や不能欠損額があります。市民の大半の方は税金を払っております。公平なる税の負担のためにもさらなる努力をお願いします。

歳出におきましては、23 年度は、25 年に式年遷宮を迎えるため多くの事業していただいております。まずは市民が満足していただかなければなりません。ひとつずつの事業を見せていただきましても大変な努力が伺われます。例えば教育費を見ましても、伊勢市の将来を担ってくれる子供たちが楽しく学校へ通えるよう、いじめのない学校づくりに一生懸命取り組んでいただいていることは高く評価をするべきだと思います。しかしこどもリレーションシップ総合推進事業におきましても 36 校で取り組んでいただきたいというのが本音でございます。継続して取り組んでいただきますようお願いいたします。食育推進事業におきましても、各課で取り組まれ、子供たちが成長していく過程で非常に大切であると思いますし、努力をしていただかなければなりません。23 年度だけではできない事業であり、継続せねばならないものが多々あります。一生懸命やっただけですので、私は高く評価いたしまして賛成討論といたします。

そして議案第 73 号から 74 号、75 号、76 号ですが、その 4 件は賛成させていただきます。以上です。

◎中村委員長

他にございましたら・・・野崎委員。

○野崎委員

議案第 72 号ほか 4 件一括に賛成の立場で討論をさせていただきます。

歳入に関しましては、他の討論でもございますように、債権回収の対策室を設置され、着実に進んでいるのではないかなと感じてはおります。しかしながらやはり皆さま同様不能欠損等、まだまだ数多くの課題を抱えております。抜本的なシステム改修に向けて、また新しい制度の取り組みに向けて、より一層の努力をしていただきますようお願い申し上げまして歳入に関しては終わらせていただきたいと思います。

また歳出に関しては、平成 23 年度を振り返ってみますと行政の顔が見えないということを持ちの至るところで聞くような年ではありました。遷宮に向けて、何をしているのか、経済政策は何があるのか等、数多く、行政のやっていることがわからないというようなことを聞くような年でありました。改めた決算書の中を見てもみますと、やはり審議でもありましたように、お金を余らせている、黒字であったと、そのことは評価すべきなのかもしれませんが、もっと積極的に何かやれることはなかったのかというのは、改めて思う決算書ではありました。

来るべき平成 25 年という年が来る割には、少し各駅停車の平常運転であったのではないかなというのが、正直な感想でございます。平常運転である以上は、やはり決算上において、大きな数字の問題が出てくるということはないのかもしれませんが、やはりそこには市民が求めているもの、一体それは何であるのか、平成 25 年という時期が迫っているにも関わらず平常運転でよかったのかということは、やはり見直していただくべきではないかなと思っております。やはりその辺りは再度の見直しを求め、来年度以降は新たな成果、新たな施策による成果を求めるといたしまして、消極的ではありますが、あくまでも消極的な賛成として認定をさせていただきますと思います。以上です。

◎中村委員長

辻委員。

○辻委員

公明党を代表しまして「議案第 72 号平成 23 年度決算認定について」ほか 4 件一括の議案に対し、認定の立場で討論をさせていただきます。

平成 23 年度伊勢市一般会計の決算につきましては、先ほども話がありましたが、歳入総額 459 億 9,531 万 8,833 円、歳出総額 439 億 1,944 万 6,962 円、差し引き額が 20 億 7,587 万 1,871 円と、翌年度への繰り越しすべき財源を差し引いた額、実質収支額が 19 億 2,642 万 8,328 円という形での、経常収支比率 85.7%は良好な決算であったといえ、いえる内容ですが、決算の内容を精査、審査していく中で、歳入の市税など、税や料に対する不能欠損や収入未済など課題は尽きませんが、税の公平性から収納率アップにつながる方法を今後取り組まれることを期待したい。例えば市民の税に対する意識の啓発、職員自身も税に対する責任感も含め、税に対する教育など、基本的なところから取り組まれることを望んでおきたいと思っております。

歳出では 23 年度には、あんまり鈴木市長の大胆な政策が見受けられなかったことは否めませ



ん。そこで私どもが審査の過程で御提言申し上げた内容をしっかり取り組まれることを望みたい。

23年度は昨年3月11日に発災した東日本大震災の影響も考慮しなければならない面がありますが、平成25年度予算編成に向けて一段の努力をお願いしたい。

私ども伊勢市においても防災、減災への取り組み、教育においては、いじめの問題、一部では先進的に取り組まれている部分もありますが、伊勢市の子供たちの将来にも関わることで、ひいては伊勢市の未来にもつながることでもあります。教職員が一丸となっていじめに対しては早期発見、早期解決を目指していただきたい。また、明年の25年は遷宮が行われる大事な年となります。ただし、遷宮に特化した内容の予算編成ではなく、伊勢市の現状をしっかりと認識され、中小零細企業への支援をどうするか、雇用の創出をどうするか、若者が元気になれる伊勢市の構築、また医療、介護など各家庭において喫緊の課題である福祉対策など、先ほども申し上げました市長の政策が重要になってくると考えます。来年度予算編成におかれましては、市民に見える、伊勢市が元気になる政策予算が盛り込まれることを御期待申し上げたい。

特別会計におきましては、国保会計では、審査や一般質問などで申し上げてきました医療費の削減につながる健康増進の取り組みや、がん対策などについて取り組みをされるように期待したい。

後期高齢者医療、介護保険などは、高齢者の増加、利用者の増加など社会的な要因からのものであると考えております。

観光交通対策特別会計は、まだ出発したばかりであり、現在の状況を見るといい方向に向かっていると考えております。

企業会計では、まず病院事業では、23年度決算はいい結果が得られたとはいいがたい。しかしこれは今に始まったことではありません。しかも全国どこの公立病院でも悩まれている勤務医、医師・看護師不足などさまざまな要因があると考えております。今伊勢市は伊勢病院の建て替えに向けて取り組まれているわけで、この機会を通じて新病院に期待した医師・看護師の確保に取り組まれない。特色のある病院へ、希望の持てる病院への船出となる取り組みを本年4月から着任された藤本病院事業管理者の手腕に御期待を申し上げたい。

上下水道などの企業会計ではライフラインから見た必要性や、今後どこまでの取り組みをするのがよいのかなど、しっかりと検討を願いたい。水道では老朽化した本管のいれかえ、下水道ではどこまでの下水道整備が必要かなどであります。

以上お話し申し上げましたが、審査の過程でさまざまな御忠告、御提言を申し上げましたことをしっかり受け止めていただき、今後の伊勢市の発展のための政策につながる施策に取り組まれるよう、決算の認定について賛成の討論とさせていただきます。

◎中村委員長

他にございましたら、世古口委員。

○世古口委員

私も第72号ほか4件の討論に参加させていただきます。

非常に長引く景気低迷の影響によりまして、歳入確保に大変な努力をされた後がうかがえます。社会経済情勢が好転しない中での収納率の対前年比0.4ポイントのかさ上げ、収入未済額、不能欠損額を減少させておりますが、市税全体で21億4千万の収入未済額があります。市税については、対前年比6億6,500万円の増収となっておりますが、この主な要因は先ほども討論で出ておりましたが、旧町村に対しまして課税導入されました都市計画税の4億2,500万円や、税率改正されたたばこ税によるものであります。

しかしながら税、料の分野において収入未済額が例年とほとんど変わらず多く残っております。抜本的な対策を求めなければなりません。例えば、対策として全庁的な取り組み、そしてまたその中においての意識の高揚や、啓発、そして担当職員に対する専門研修の充実強化、そして納税者への納付啓発の、啓発活動や、取り組みの充実強化、特に悪質滞納者に対する対処など、引き続き税の負担の公平性の観点から収納率の向上に努めるとともに、収入未済額の縮減に努めていただきますように申し添えておきたいと思っております。

特別会計の関係におきましては、一般会計同様、各特別会計の収入未済額がトータルで11億5千万強と、大変多いのが目に付きます。未納の縮減と収納率の向上が課題であり、努力が必要であるのは当然であります。

歳出面におきましては、いろいろな各事業の内容を十分検証していただきまして次年度に生かしていただきたいと思っております。

それから病院事業会計につきましては、先ほど宿議員のほうから、現状の憂れうべきことをいろいろと申されました。私も全くこの点につきましては同感であります。単年度純損失で3億4,523万、そして7年連続での赤字であり、当年度末の未収欠損金が36億6千万と大変な状況で、まさに重症であります。医師・看護師を呼び戻す施策、対策を考えた場合、医師看護師の立場になって施設あるいは機器の導入を、そしてまた労働条件の見直しなどを進めなければいけないと思っております。やはり現状の中でどうしていくんだということで、小手先だけの対応ではとてもではないが無理だと思います。やはりにわとりが先か、卵が先かとよく言われますが、今の中におきまして、改善ということも非常に大事であるわけですが、もう1回、元から、根本から見直して、医師、看護師に定着してもらうためには、どうすればいいのかということを考え場合に、やはり急性期でいろいろと研究のできる機器の導入とか、労働条件、あるいはそういったことがなければ、どれだけ呼び止めて定着はしないとしますし、そこらが今後の対応の課題ではなからうかとこのように思います。しっかりやっていただきたいと思っております。

水道関係につきましては、非常に業績もよろしいので、やはり先ほども出ておりましたように先行投資と申しますか、老朽管、こういったものにつきましても十分今から対応してもらっておりますが、さらにこういった事業の推進を加速させていただきたいとこのように思います。

下水道事業会計につきましては、事業の道半ばでありますし、約1億円の純損失を今年も出しましたが、前年度からの繰り越し欠損金とあわせると、当年度未処理欠損金は約4億円となっております。借入金の返済など自己資本構成比率は、若干ことしよくなっておりますし、また長

期健全性が見通されているということでもあります。302億という非常に膨大な借入金を早く返せるように、大きな事業でありますし、今後も接続率の向上や事業推進に万全を期していただきたいと思います。

そういったいろいろな意見等も申し添えましたが、このことしの決算につきまして賛成の立場で討論とさせていただきます。

◎中村委員長

小山委員。

○小山委員

本決算特別委員会に審査付託を受けました議案第72号平成23年度決算認定についてほか4件一括について新政いせとして認定の立場で討論を行います。

歳入については、職員の懸命の努力にも関わらず、多額の未集金ならびに不能欠損があることは、はなはだ残念であります。税の公平性の観点からも悪質な滞納者に対しては厳正に対処していただきたい。

また歳出については最大多数の最大幸福の原則に基づいて、公平な予算執行をしていただいて、経済波及効果の期待できる事業運営に努めていただきたい。

以上決算審査の過程で指摘させていただいた点も含めて25年度の政策に反映していただくことをお願いして賛成の討論といたします。以上です。

◎中村委員長

他に討論はございませんか。

〔「なし」と呼ぶ者あり〕

◎中村委員長

討論なしと認めます。

ただいまから「議案第72号平成23年度決算認定について」ほか4件一括を採決いたします。

1件ずつ採決をいたします。

まず「議案第72号平成23年度決算認定について」を採決いたします。

議案第72号について、これを認定すべしと決定することに賛成の方は御起立を願います

〔賛成者起立〕

◎中村委員長

起立全員であります。よって「議案第72号平成23年度決算認定について」は、認定すべしと

決定いたしました。

次に「議案第 73 号平成 23 年度伊勢市病院事業会計決算認定について」を採決いたします。

議案第 73 号について、これを認定すべしと決定することに賛成の方は御起立をお願いいたします。

〔賛成者起立〕

◎中村委員長

起立多数であります。よって「議案第 73 号平成 23 年度伊勢市病院事業会計決算認定について」は、認定すべしと決定しました。

次に「議案第 74 号平成 23 年度伊勢市水道事業剰余金処分及び平成 23 年度伊勢市水道事業会計決算認定について」を採決いたします。

議案第 74 号について、原案どおりこれを認定すべしと決定することに賛成の方は御起立願います。

〔賛成者起立〕

◎中村委員長

起立全員であります。よって「議案第 74 号平成 23 年度伊勢市水道事業剰余金処分及び平成 23 年度伊勢市水道事業会計決算認定について」は、認定すべしと決定いたしました。

次に「議案第 75 号平成 23 年度伊勢市下水道事業会計決算認定について」を採決いたします。

議案第 75 号について、これを認定すべしと決定することに賛成の方は御起立願います。

〔賛成者起立〕

◎中村委員長

起立全員であります。よって「議案第 75 号平成 23 年度伊勢市下水道事業会計決算認定について」は、認定すべしと決定しました。

次に「議案第 76 号平成 23 年度伊勢市認知症対応型共同生活介護事業会計決算認定について」を採決いたします。

議案第 76 号について、これを認定するべしと決定することに賛成の方は御起立願います。

〔賛成者起立〕

◎中村委員長

起立全員であります。よって「議案第 76 号平成 23 年度伊勢市認知症対応型共同生活介護事業

会計決算認定について」は認定すべしと決定しました。

以上で、本特別委員会に審査付託を受けました案件の審査は終わりました。

お諮りいたします。本日は、この程度で散会し、来る10月3日、午後1時から継続会議を開きたいと思いますが、御異議ございませんか。

(「異議なし」と呼ぶ者あり)

◎中村員長

御異議なしと認めます。

それでは、本日はこの程度で散会し、来る10月3日、午後1時から継続会議をあき、決算特別委員会の報告書の確認ということでよろしくお願ひしたいと思ひます。

なお、本日御出席の皆さんには、開議通知を差し上げませんので御了承願ひたいと思ひます。

これもちまして散会をいたします。ありがとうございました。

(散会 午前10時42分)

上記署名する

平成24年9月28日

委 員 長

委 員

委 員